

仕様

適用圧力	0.03～2.0MPa
最高使用温度	400℃
背圧許容度	70%
口径	8 A
接続	Rc
ストレーナー	内蔵
取り付け姿勢	水平、垂直

特徴

・ボディには、ステンレスを採用、小型・軽量で保守点検が容易です。
・圧力・温度条件に幅広く適応し、またドレンを間欠排出するトレース用スチーム・トラップとして開発されています。



注意

安全上のご注意

- ・最高許容圧力(PMA)は耐圧部が許容する最高圧力で最高使用圧力ではありません。また、最高許容温度は耐圧部が許容する温度で最高使用温度ではありません。
- ・製品を正しく設置し、最高許容圧力、温度など仕様範囲以外での使用は絶対にしないでください。製品の破損、異常作動等により重大な事故を起こす恐れがあります。
- ・最高作動圧力差を超えて使用すると、排出不能となりますので絶対にさけてください。
- ・出口接続部は人が直接触れられないようにしてください。高温ドレンの排出によって、火傷、ケガなどの危険があります。
- ・製品の分解、取り外しは、製品内部の圧力が大気圧になってから、また表面温度が常温になってから行ってください。製品に圧力、温度が加わっている場合は、流体が吹き出しケガ、火傷をする恐れがあります。
- ・製品の修理には、正規の部品を必ず使用してください。また、製品の改造は絶対にしないでください。
- ・接続ねじ部を締め付けすぎないようにしてください。
- ・凍結の心配がある場合は、プラグから滞留ドレンを排出してください。凍結すると製品の破損の恐れがあります。
- ・ウォーターハンマの衝撃が加わらないようにしてください。

配管

- 1) トラップ前後の配管はトラップ・サイズと同じか、ひとまわり大きなサイズにしてください。
- 2) トラップ2次側の回収管が比較的短い場合は同等でもよいが、長い配管に対しては、ドレンとフラッシュスチームを同時に処理できるように、十分大きなサイズにする必要があります。もし、いくつかのトラップが共通のリターン・ラインに排出する場合は、過度の背圧を防ぐため、十分なサイズの回収管にしなければなりません。
- 3) スチーム・トラップより上部の回収管ヘッドレンを排出する場合は、停止時の逆流を防ぐために逆止弁を設置してください。
- 4) 計器廻りのスチームトレースでは、トラップからの排出ドレンで機器の腐食が発生しないよう十分考慮してください。

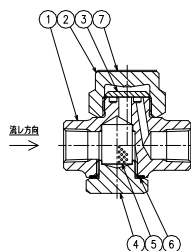
製品の取り付け

- 1) トラップを取付ける前には配管をブローして、ゴミ・スケール・金属片等を完全に取り除いて下さい。特に新しい配管の場合は十分なブローを実施して下さい。
- 2) トラップヘッドレンが自然に流入しやすいように、できるだけ低い位置に取り付けて下さい。トラップ前に立ち上りがないように注意して下さい。
- 3) トラップは水平配管でも垂直(上から下)配管でも作動します。このとき、ボディ上に表示された矢印が流れの方向と一致するようにして下さい。
- 4) 凍結が起こりやすいところでは、トラップ内に復水が滞留しないよう垂直配管にするか、水平配管の場合はボンネットが横向きになるように取り付けして下さい。また、トラップはできるだけドレンの取出口に近づけて取り付けして下さい。

作動点検

- 1) トラップの寿命を長く保ち最良の作動条件を得るためには、ストレーナー・スクリーンを適切に掃除することをお勧めします。
- 2) 次の方法により正しいトラップの作動を点検して下さい。
 - (a) 聴診棒をボンネットに当て、バルブが開閉する際の独特のカチカチという音を聞いて下さい。
 - (b) 作動状態をみるために、トラップ後のテスト・バルブを開放し作動を確認して下さい。
- 3) 作動状況で不具合が生じた場合は、「8.故障原因と対策」にしたがってメンテナンスを行って下さい。
- 4) 少なくとも年1回以上の定期点検を行なって下さい。
- 5) 定検のために予備部品を用意しておいて下さい。スクリーン、スクリーンキャップガスケット各1個。

構造



部品番号	部品名称	材質
1	本体	ステンレススチール (要部熱処理)
2	ボンネット	ステンレススチール
3	ディスク	ステンレススチール
4	スクリーン・キャップ	炭素鋼
5	スクリーン	ステンレススチール
6	ガスケット	ステンレススチール
7	ネームプレート	ステンレススチール

組立

- 1) ボンネットとシートのシール面がきれい、ごみが付着していないことを確認して下さい。もし、シール面に汚れや、損傷がある場合、ボンネットとシート部とのシールが不可能になります。
- 2) ディスク③は溝面を下にしてシートの上に置きます。
- 3) ボンネット②のネジ部にごく少量のモリコートを塗布し所定のトルクで締めこんで下さい。
- 4) スクリーンキャップ④及び本体①の当たり面を掃除し、新しいガスケット⑤をスクリーンキャップの肩に取り付けます。
- 5) スクリーン⑥をスクリーンキャップ内の窪みにはめ込み本体に所定のトルクで締め込んでください。



規定のトルク値以上の力で閉め込まないで下さい。
下表「締付けトルク表」を参照下さい。

Size (mm)	ボンネット (mm, Nm)		スクリーン・キャップ (mm, Nm)	
	HEX	トルク 値	HEX	トルク 値
8	26	13	21	59

トラブルシューティング

トラップが正常に作動しない場合は、次の表で処置します。

- (1) ディスク交換、本体交換
- (2) ディスク、シートの清掃
- (3) トラップの選定、サイズの見直し
- (4) ストレーナーの清掃
- (5) 1次側、2次側バルブの開弁
- (6) 本体矢印の向きに取り付ける

作動状況	原因	対策
生蒸気が漏れる	ディスク、シートの磨耗	(1)
	ディスク、シートの汚れ	(1),(2)
	背圧が許容値を越えている	(3)
復水がたまる	トラップ容量が小さく絶えずドレンを排出している	(3)
	1次側の調節弁又はストップバルブが閉まっている	(5)
	ストレーナーの目詰まり	(4)
	2次側のストップバルブ又はチェックバルブが閉まっている	(5)
	トラップが逆に取り付けられている	(6)
	空気障害が起きている	(3)

分解・組立



危険

トラップ本体の表面は高温の為、触れると火傷をします。十分冷えてから革手袋をつけて作業して下さい。また、ボンネットを分解するときは、蒸気や高温ドレンが吹き出しますのでトラップ内の内圧が抜けるのを確認してから作業を行なって下さい。

分解

- 1) ボンネット②をねじ戻し、ディスク③を取り出します。



注意

ボンネットの分解はトラップが十分冷えてから実施して下さい。また、ネジ部に焼き付きを起こすことがあります。

- 2) 取り出したディスク及びトラップ本体のシート部は耐蝕性溶液をつけたボロ布できれいに拭き取ります。トラップ内部のゴミや、付着している酸化物は作動不良の原因になりますので、ていねいに拭き取って下さい。



注意

研磨剤をつけた布やこれに類似したものでディスクやシート部を磨かないようにして下さい。

- 3) もし、ディスクが磨耗している場合には、新しい部品に交換して下さい。
- 4) 作動部分の掃除又は部品を交換しても、作動不良の場合はストレーナー部のスクリーンキャップ④を取り外し、スクリーン⑥を掃除して下さい。



注意

摺合わせ修理は、ディスク及びシート面に表面焼き入れが施されていますので、摺合せにより寿命が極端に短くなり、メリットがありません。

保証

- 1) 保証期間
製品発送後1年間
- 2) 保証範囲
上記保証期間内に当社の責任により故障を生じた場合は、その製品の交換あるいは修理を行います。
- 3) 下記の場合は、保証期間でもその責任を負いません。
 - ①正しい取り付け、取り扱い以外による故障、およびユーザーの責任による故障
 - ②ゴミ、スケール、カーボン、鉄くず等による故障
 - ③水質異常による本体内部腐食の故障
 - ④ユーザーの分解、点検による故障
 - ⑤天災などの不可抗力による故障
 - ⑥製品破損等で現品の廃棄による詳細が不明な場合
 - ⑦その他当社の製造責任に帰さない原因(ウォーターハンマー等)による事故、又は故障
- 4) 免責事項
本取扱説明書の記載事項が遵守されないことにより発生した不適合については、弊社の責任は免除されます。

日本フイツシヤ株式会社
651-2241神戸市西区室谷1-5-1
Tel (078)990-2015 Fax (078)992-4571